

日本生体医工学会 平成20年度 第1回理事会 議事録

日時：平成20年5月7日 16時～18時

場所：神戸国際会議場 402 会議室

出席者

会長	副会長	理事														監事		幹事		事務局					
土肥健純	楠岡英雄	佐久間一郎	安藤謙二	石原謙	伊関洋	稲田紘	菊地眞	佐藤正明	砂川賢二	千田彰一	田村俊世	千原國宏	辻岡克彦	福井康裕	堀正二	三田村好矩	南谷晴之	山本克之	林紘三郎	山口隆美	山越憲一	村垣善浩	神保泰彦	村上聡	徳山久美子
								委任									委任								

記録：神保

配布資料

- 20-1-2 平成19年度第5回理事会議事録案
- 20-1-3 平成20年度第1回理事会入退会審査対象者
- 20-1-5 英文出版について
- 20-1-6 専門別研究会について
- 20-1-8 平成20年度会務分担
- 20-1-9 日本医学会より 医療の安全確保について
- 20-1-10 日本医学会評議員の選出について

「第48回大会広報資料」

「平成20年度 通常総会資料」

議事

1. 理事会成立の件（総務：佐久間）
定款に定める要件を満たしている（出席15名 委任状2通/19名）ことを確認して理事会成立を宣言した。
2. 前回議事録承認の件（審 総務：佐久間：資料20-1-2）
前回議事録につき確認、原案どおり承認された。
3. 入退会状況（審・回覧 会員 資料20-1-3）
入会：正会員15名 準会員3名
退会：正会員83名 準会員6名 維持会員1社 顧問0名
会員資格等変更：正 名誉4名，顧問 名誉2名
逝去：正会員2名
全入退会、資格変更が承認された。
この結果、現況は正会員（国内）2369名、正会員（海外）42名、準会員（国内）383名、準会員（海外）0名、維持会員18社28口 顧問3名、名誉会員56名となる。
4. 選奨（報・審 選奨：南谷（代理：事務局） 総会資料）
総会資料32ページのとおり報告され、承認された。

基本的に「該当者なし」は避けることを今後の方針とする。

科学新聞賞については科学新聞社側のメリット確保が課題。広告掲載等の可能性につき検討する（大会長担当）。

5．生体医工学英文誌について（報・審 佐藤（代理：事務局） 資料 20-1-5）

Springer から概略の見積もりが提出された。

今後 1 年かけて検討していく。

6．専門別研究会について（報 三田村 資料 20-1-6）

3 月 22 日に評価委員会を開催、新設 1 件（次世代内視鏡技術）承認，1 件（周産期 ME）は平成 20 年度休会扱いとすることを承認。他は継続、ただし会計処理、広報（HP）等につき改善を要するケースがある。会計処理は法人制度の変更に伴い特に注意を要する。当初予算（150 万）を超過する（155 万を予定）ことを承認（決算時の対応を予定）。研究会活動費の有効利用を心がける（土肥、稲田）。研究会活動に継続的に参加するメンバーには学会入会を勧める方向で活動する（堀）。

7．平成 19 年度決算及び平成 20 年度予算案（報・審 財務：福井）

総会資料に従って報告があり 15 ページ「第 46 回大会関係費（神戸）」を「仙台」に訂正して承認した。法人制度の変更に伴って必要となる事項（事業費が管理費以上であること etc.）に対する対応を今年度の重要検討課題とする。

8．次年度役割分担（審 次期会長：楠岡 20-1-8）

資料について説明があり、提案どおり承認された。

9．日本医学会より 医療の安全確保について（審 総務：佐久間 20-1-9）

生体医工学会としては継続検討課題としたいとの説明があり承認された。

必要な範囲でコメントをまとめる方針で早急に対処する（楠岡）。

10．日本医学会評議員、連絡員、用語委員の選出について（報 次期会長：楠岡）

楠岡、安藤、伊関、橋爪理事が対応する。

11．第 47 回大会準備状況（報 大会長：堀）

710 件というこれまでにない多数の演題が集まった。ディベートセッション、新製品・機器紹介のランチョンセミナーなど新企画も組み、準備完了、開会を待つ状況である。

12．第 48 回大会準備状況（報 大会長：福井）

順調に準備が進んでいることが報告された。

13．その他

地震など災害時の医療機器関係問題に対する学会としての対応の可能性に関する提案があった（甲信越支部）。他学会（機械学会）の活動状況も参考にして今後検討する。